

山口県医師会 令和3年度事業報告

I 実施事業

—地域医療・保健・福祉を推進する事業—

1 生涯教育

加藤副会長 郷良常任理事
白澤理事 山下理事

生涯教育事業では中核事業である生涯研修セミナーの講演内容を年4回の生涯教育委員会で企画・検討した。生涯研修セミナーでは、新型コロナウイルス感染症に関する「住民・行政・医療職協働の地域づくりとコロナ感染対策」をはじめ、臨床のみならず、「医学・医療におけるゲノム編集の潮流」などの幅広いテーマを取り上げ実施した。2月のセミナーでは、山口県まん延防止等重点措置の期間延長に伴う感染拡大防止集中対策の実施により、開催形態を通常の「会場のみ」から「会場およびWeb視聴」に変更して開催した。また、昨年度から引き続き、専門医共通講習の単位を積極的に取得した。

第104回山口県医学会総会は岩国市医師会の引き受けにより「岩国市民文化会館」で開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、令和4年度に延期へと変更した。

体験学習は、例年通り山口大学医学部・山口大学医師会の主催により開催予定だったが、こちらも新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため中止となった。

日医かかりつけ医機能研修制度は基本研修、応用研修、実地研修の3つの要件があり、今年度も必須要件である応用研修会を開催した。今年度は7月に開催し、受講機会を確保した。

第56号の山口県医学会誌を発行した。

1 山口県医学会総会

第104回（岩国市民文化会館）

令和4年度に延期

2 生涯研修セミナー

第159回 5月16日

特別講演4題

第160回 9月5日

特別講演3題

第161回 11月21日

特別講演4題

第162回 2月20日

特別講演2題、

基調講演1題及びシンポジウム1題

（基調講演、シンポジウムは勤務医師会企画）

3 体験学習（山口大学医師会主催）

第71回・第72回（※中止）

引受：消化器内科学講座・器官病態内科学講座

4 日医かかりつけ医機能研修制度

応用研修会 7月18日

5 山口県医学会誌

第56号の編集及び発行

6 生涯教育諸会議

郡市医師会生涯教育担当理事協議会

3月17日

生涯教育委員会

5月22日 10月9日 2月5日

※中止・・・新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため開催を中止した。

2 医療・介護保険

清水専務理事 郷良常任理事

山下理事 伊藤理事

藤原理事

医療保険

令和4年度の診療報酬改定率は本体でプラス0.43%であり、医科はプラス0.26%となった。そのうち、看護の処遇改善のための特例的対応がプラス0.20%、リフィル処方せんの導入・活

用促進による効率化としてマイナス0.10%、不妊症治療の保険適用のための特例的対応がプラス0.20%、小児の感染防止対策に係る加算措置の期限到来によりマイナス0.10%等が含まれている。

令和3年度においても新型コロナウイルス感染症は第五波、第六波と感染拡大を繰り返したため、感染防止の観点から集合形式での一部の協議会は中止または書面開催へ変更する等の対応により会務運営を行った。日本医師会診療報酬検討委員会からの諮問である「次期（令和4年度）診療報酬改定に対する要望項目の提出」の答申についても、今回、中国四国ブロックは書面開催での協議となったが、意見集約を行う高知県医師会と連携しながら「オンライン診療の算定要件の厳格化」等の数項目を要望として提出した。また、診療報酬改定時に開催していた県内7会場での同説明会もすべて中止となったが、会員への改定事項の周知が十分図られるよう、書面（冊子作製等）及びデジタルを用いて改定内容の周知に努めたところであり、改定後の保険審査等が適正に行われるよう関係機関とも連携を図った。

同コロナ禍においては「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱い」（厚生労働省保険局医療課 事務連絡）により、医療保険請求に関する60以上の特例的取扱いが実施されており、これらについても審査支払機関と緊密に連携し、対応を図ったところである。

前述のように、コロナ禍に翻弄された1年であったが、会員から持ち上がる診療報酬の問題点、改正点については積極的に日医へ進言し、医療保険対策を講じているところであるが、その進言の基となるのは、郡市医師会保険担当理事協議会及び社保国保審査委員との協議会等から提出される意見であることから、これら協議会等は非常に重要な意見交換の場となっているため、感染防止対策を図った上で、原則、集合形式により開催したところである。

個別指導に関しては、コロナ禍における感染症対策の制限もあり、今年度は4回の実施となった。保険指導医は全員県医師会の保険委員を兼任することとし、立会いについても医師会の保険担当役

員（郡市及び県）が行うことで、医療担当者側の立場が尊重された適正な保険指導が実施されるように努めた。

介護保険については、郡市介護保険担当理事・ケアマネ・訪問看護師との合同協議会を開催し、介護保険事業所の整備状況などを県行政、関係団体からは活動状況の報告等、情報提供を行った。さらに、地域包括ケアシステムの推進（認知症サポート医の養成）等についても行政を含む関係機関等との協議を重ねた。また、その他の認知症関連の研修会、地域包括診療加算・地域包括診療料に係る研修会、主治医意見書記載のための主治医研修会を開催し、診療報酬の施設基準等を満たすべく研修を実施した。

令和元年8月に創設された「オレンジドクター制度」については、本会ホームページ等を活用し、会員へ周知を行った。

労災・自賠責保険については、郡市労災・自賠責保険担当理事協議会・労災保険医療委員会合同会議を開催し、それぞれの保険が抱える特有の問題（第三者行為による傷病届等）について協議、情報提供を行った。また、労災診療に関する要望書を山口労働局と日本医師会へ提出した。

山口県自動車保険医療連絡協議会においては、各損保会社、各医療機関から提出された交通事故医療に関する未解決事例について、加盟の損保会社と協議を行い対処した。

本年度（2年に1回）は自賠責保険研修会を開催し、特別講演「外傷性脳脊髄液漏出症は存在するか？—そのピットフォールとマネジメント—」等により、会員への情報提供及び対応方法について周知を図った。

医療保険

1 医療保険の指導

個別指導（すべて会場は山口市）

7月29日 10月28日

11月25日 12月9日

指定時集団指導

（※中止）

新規第1号会員研修会

10月14日

新規保険医療機関個別指導（山口市）

6月3日 7月29日 8月26日

9月30日 10月28日 11月25日
 12月9日 1月27日 2月10日
 社会保険医療担当者集団指導 (※中止)

2 日医・郡市医・医療保険関係団体等との連携

中国四国医師会連合総会分科会
 医療保険部会：(※書面開催)
 10月2日(松山市)(※Web)
 郡市保険担当理事協議会 5月20日
 医師会推薦社保・国保審査委員合同協議会
 (※中止)
 保険委員会 4月22日 3月3日
 社保・国保審査委員連絡委員会
 7月1日 2月3日
 社保・国保審査委員合同協議会 9月9日
 社会保険指導者講習会 (※中止)
 山口県医療保険関係団体連絡協議会
 (※書面開催)

3 行政機関との連携

山口県健康福祉部厚政課との打合せ
 4月22日
 中国四国厚生局山口事務所、山口県
 健康福祉部医務保険課との打合せ
 4月22日

介護保険

郡市介護保険担当理事協議会・
 介護保険対策委員会・関係者合同協議会
 10月14日
 地域包括診療加算・地域包括診療料に係る
 かかりつけ医研修会
 10月24日 3月13日
 かかりつけ医認知症対応力向上研修会
 7月18日 8月22日
 認知症サポート医フォローアップ研修会
 2月12日(※中止)
 主治医意見書記載のための主治医研修会
 10月23日
 山口県介護保険研究大会 12月26日

労災・自賠責関係

郡市労災・自賠責保険担当理事協議会・

労災保険医療委員会合同会議 11月4日
 自賠責医療委員会 2月10日(書面開催)
 山口県自動車保険医療連絡協議会
 2月10日(書面開催)
 自賠責保険研修会 11月11日

※中止・・・新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため開催を中止した。

3 地域医療

前川常任理事 清水専務理事
 伊藤理事 上野理事
 藤原理事 茶川理事

地域医療

2020年1月に我が国で最初の感染者が確認された新型コロナウイルス感染症は、我が国の医療提供体制に多大な影響を及ぼし、局所的な病床や専門人材の不足、感染症対応も含めた医療機関間の役割分担・連携体制の構築、さらに個々の医療機関におけるゾーニング等の院内感染防止対策や感染防護具や人工呼吸器等の医療用物資の確保・備蓄など、地域医療における様々な課題が浮き彫りとなった。

医療現場は、GW前の第4波(アルファ変異株)から第5波(デルタ株)・第6波(オミクロン株)と、今年度もコロナ感染症の対応に翻弄された1年であったが、地域の医療提供体制の中で中心的役割を担っている郡市医師会及び会員医療機関の状況把握に努めるとともに、県行政との調整、日本医師会からの情報伝達等に努めた。

(1) 保健医療計画の推進

各圏域の地域医療構想調整会議は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止又は書面開催が多かったが、「下関」圏域での公立・公的4病院の再編については、調整会議の合意により、県内では3ヶ所目となる重点支援区域として国へ申請することとなった。

地域医療介護総合確保基金(医療分)については、引き続き予算確保に努めたが、県の財源不足もあってなかなか上手く活用できていない実状にある。

地域医療構想調整会議【全体会議】

「岩国」	9月30日
「柳井」	9月（書面開催）
「周南」	12月9日
「山口・防府」	10月15日 1月（書面開催）
「宇部・小野田」	9月（書面開催）
「下関」	2月（書面開催）
「長門」	9・2月（書面開催）
「萩」	7月8日 2月17日

地域医療構想調整会議【検討部会・専門部会】

「岩国」	8月31日
「周南」	11月18日
「山口・防府」	9・1月（書面開催）
「下関」	1月（書面開催）
「萩」	2月3日

厚労省：医療政策研修会及び

地域医療構想アドバイザー会議（録画配信）	
中国四国医師会連合分科会（Web）	10月2日
地域医療計画委員会	（※中止）
郡市医師会地域医療担当理事協議会	（※中止）

（2）救急・災害医療対策

①初期救急医療について

郡市救急医療担当理事協議会を開催し、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種に係る救急搬送体制等についての情報共有等を行った。また、AEDの普及促進を図るため、講習会で使用する訓練用資機材の貸出を行った。

昨年度に引き続き、ACLS シミュレータレンタル費用の助成を1医療機関につき15万円を上限として行い、3機関に助成を行った。

郡市医師会救急医療担当理事協議会 （ハイブリッド開催）	7月8日
全国メディカルコントロール協議会 連絡会（Web）	6月10日 1月28日

②小児救急について

病院勤務医の負担を軽減し、地域で安心できる小児救急医療環境を確保するため、各郡市医師会の協力により、乳幼児の保護者を対象にした啓発講習会及び小児科を専門としない医師を対象とし

た地域医師研修会を開催した。

また、全時間帯が民間業者に委託されている「小児救急医療電話相談事業」は、令和元年2月から本年度も引き続き2回線で運用されている。この事業については、郡市医師会小児救急医療担当理事協議会にて、昨年度の実績報告を行った。

郡市医師会小児救急医療担当理事協議会	
	7月29日（書面開催）

③検死（検視・検案）体制について

例年どおり、警察医会を中心として、役員会・総会を開催し、警察が行う死体検案に協力する医師の連携を図り、研修会を実施した。また、県医師会表彰の地域社会に対する功労者として警察活動協力医を推薦した。

警察医会 役員会	5月27日 7月31日
	2月5日（書面開催）
総会	7月31日
研修会	7月31日 2月5日（※中止）
都道府県医師会「警察活動に協力する医師の部会（仮称）」連絡協議会	7月30日

④災害医療体制について

各郡市医師会又は病院単位によるJMATチームの事前登録を進めた。（26チーム・197人：令和4年3月末現在）

JMATやまぐち事前登録者を対象として被災地JMATがテーマのグループワークを伴うJMATやまぐち災害医療研修会を開催した。また、JMATやまぐち資器材整備事業として、衛星電話を購入した。

日本医師会主催のJMAT研修が開催され、基本編、ロジスティクス編を受講した。

「JMATやまぐち」災害医療研修会	11月14日
「JMATやまぐち」災害医療研修会 事前打合せ会	6月4日
日医JMAT研修「基本編」（Web）	3月13日
日医JMAT研修「ロジスティクス編」（Web）	1月30日

桜島噴火災害訓練(災害時情報通信訓練)(Web)
3月18日

総会・研修会(Web)

1月23日

(3) 地域包括ケアシステムの構築

在宅医療・介護の連携推進は、地域の特性に応じた地域包括ケアシステム構築の中核と捉え、各都市医師会が積極的に関与していくことが重要である。今年度も都市医師会担当理事会議を開催し、都市医師会への取組みに対して助成を行った。新型コロナウイルス感染症への対応としては、高齢者・障害者施設や医療機関等でのクラスター発生時に感染対策指導や患者搬送・医療支援をする対策チームへ登録し、県が実施する訓練や研修会へ参加した。

都市医師会地域包括ケア担当理事会議

8月26日

都道府県医師会小児在宅ケア担当理事

連絡協議会(Web)

3月30日

(4) 有床診療所対策

有床診療所は、コロナ禍においても発熱外来やワクチン接種、宿泊療養患者や自宅待機・自宅療養者への往診等の外来機能に加えて、コロナ感染症対応基幹病院の後方支援病床として入院機能も発揮し、地域に身近なかかりつけ医として積極的な役割を果たした。

有床診療所部会では、全国的に閉院・無床化が進む中、全国有床診療所連絡協議会と連携して日医や議連等を通じ、安定した経営や将来性を持った承継が可能となるよう診療報酬による評価を働きかけた。

有床診療所部会役員会

6月24日 10月7日

有床診療所部会総会

10月7日

第34回全国有床診療所連絡協議会

「徳島大会」(ハイブリッド開催)

10月23、24日

全国有床診療所連絡協議会

中国四国ブロック会役員会(Web)

1月23日

地域福祉

福祉領域においては、行政の会議等へ出席するとともに、障害者福祉、児童・母子福祉などの地域保健部門と連携をとり、会員への情報提供に努めた。

※中止・・・新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため開催を中止した。

4 地域保健

中村常任理事 河村常任理事

沖中常任理事 伊藤理事

上野理事 茶川理事

縄田理事

地域保健は、妊産婦・乳幼児保健、学校保健、成人・高齢者保健及び産業保健の4部門からなり、各事業は多岐にわたっている。住民の「生涯を通じた健康の保持・増進」の目標のもと、一連の流れとして捉え、関係機関と緊密に連携を取りながら事業を進めた。

妊産婦・乳幼児保健

広域予防接種は、各都市医師会や各市町関係者と合同会議を開催し、円滑に遂行されている。令和2年10月から乳幼児に対するロタウイルスワクチンが定期接種に加わっているが、地域医師会や市町行政と連携し、円滑な実施に努めた。また、予防接種に関する知識と理解を深めることを目的に今年度も予防接種医研修会を開催した。

県及び市町に対しては、おたふくかぜワクチン、小児のインフルエンザワクチンの費用助成、B型肝炎定期接種の対象外である年齢の小児に対する助成を要望した。また、積極的な勧奨が差し控えられていたHPVワクチンの対象者への情報提供及び接種年齢を過ぎた方への経済的補助を要望するとともに、普及啓発のためのポスター及びリーフレットを作成し、対象者、医療機関及び関係機関等へ配付した。

「子ども予防接種週間」は、保護者をはじめとした地域住民の予防接種に対する関心を高め、予

防接種率の向上を図ることを目的に、今年度も日本医師会、日本小児科医会、厚生労働省の主催で実施され、本会としても協力医療機関の調査や市町への広報について協力した。

母子保健分野では、今年度に設立した母子保健委員会を2回開催し、多職種連携強化のための対策等を協議した。また、各市町及び各郡市医師会に対して「成育支援事業の実施状況及び課題や問題点に関するアンケート」を行い、諸課題等について今後検討していくこととした。乳幼児健康診査や妊婦健康診査の料金案等については関係機関と意見交換の上、県医師会案を行政に提示し、協議を行うとともに円滑な実施をお願いした。

乳幼児の医療費助成の拡充や産前・産後サポート事業の推進、生後2週間児及び1歳児を対象とした乳児健診への公費助成、新生児聴覚スクリーニング検査の公費助成の推進、拳児希望女性・妊娠初期女性への葉酸配布、3歳児健診での屈折検査の実施、多胎妊婦健康診査助成の推進等について県及び市町に対して要望した。

また、虐待防止活動として山口県産婦人科医会及び山口県小児科医会との共催で児童虐待の発生予防等に関する研修会を開催した。

郡市医師会妊産婦・乳幼児保健担当理事
協議会・関係者合同会議

9月16日（書面開催）

予防接種医研修会（ハイブリッド）

12月5日

母子保健委員会 8月5日 1月13日

日医母子保健講習会（Web） 2月13日

児童虐待の発生予防等に関する

研修会（ハイブリッド） 11月3日

学校保健

学校医部会では、学校医活動の活性化と資質向上に向けた取組みとして、学校医研修会を企画し、川崎医療福祉大学の尾内一信先生に「新型コロナウイルス感染症とワクチンー現状と課題、そして近未来予想ー」について講演いただいた。また、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、昨年度、県教育委員会等と協議の上で発出した児童生徒等

の健康診断実施に係る留意事項の令和3年度版を発出した。そのほか「学校医の手引き」の改訂作業や「学校医活動記録手帳」の作成、配付を行った。

学校心臓検診検討委員会では、学校心臓検診報告書の作成や精密検査医療機関への疑義内容の照会など県内統一の学校心臓検診システムの精度管理をするとともに、学校心臓検診検討委員会では、学校心臓検診報告書の作成や精密検査医療機関への疑義内容の照会など県内統一の学校心臓検診システムの精度管理をするとともに、学校心臓検診精密検査医療機関研修会を企画し、福岡市立こども病院川崎病センターの古野憲司先生に「川崎病既往児童・生徒の遠隔期評価」について講演いただいた。また、日本学校保健会「学校心臓検診の実際」が令和2年度に改訂されたことを踏まえ、平成28年度に作成した「養護教諭のための生活管理指導表の診断名（所見名）から見たリスク早見表」の改訂を行った。

その他、例年通り各郡市医師会主催の学校医等研修会及び小児生活習慣病対策に対して助成を行った。

学校心臓検診検討委員会

5月20日 9月20日 1月20日（Web）

学校医部会総会・学校医研修会・学校心臓

検診精密検査医療機関研修会（ハイブリッド）

12月5日

学校医部会役員会 6月10日（書面開催）

郡市医師会学校保健担当理事協議会・

学校医部会合同会議（ハイブリッド）

11月18日

中国四国医師会連合学校保健担当理事

連絡協議会「愛媛」（Web） 8月22日

第52回全国学校保健・学校医大会「岡山」（Web）

10月30日

同 都道府県医師会連絡会議

（書面開催）

都道府県医師会学校保健担当理事

連絡協議会（Web） 12月12日

若年者心疾患・生活習慣病対策協議会

理事会・評議員会「富山」（ハイブリッド）

2月26日

第53回若年者心疾患・生活習慣病対策協議会
総会「富山」(ハイブリッド) 2月27日

成人・高齢者保健

糖尿病対策として、コメディカル・歯科医等を対象に山口県糖尿病療養指導士講習会を年4回開催し、修了認定試験合格者103名を新たに「やまぐち糖尿病療養指導士」として認定し、全体で資格保有者は878名となった。そのほか、これまでの資格認定者を対象に知識・技術向上及び資格更新のためのレベルアップ講習会を開催した。

特定健診・特定保健指導は依然として受診率・終了率が低い。実施状況や検討課題について、保険者や決済代行機関(支払基金・国保連合会)の出席のもとで郡市医師会特定健診・特定保健指導担当理事協議会及び関係者合同会議を開催した。

がん対策では、がん検診受診率向上の施策の一つとして、休日及び平日夜間にがん検診を行う医療機関へ助成する事業を実施した。そのほか、胃内視鏡検診研修会をWeb開催した。なお、緩和ケア研修会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止した。

健康教育委員会では、今年度のテーマを「带状疱疹」として、健康教育テキストの内容を検討し、発行した。

感染症対策については、動物由来の感染症等に関する日本医師会及び県からの通知など、郡市医師会を通じて会員への周知に努めた。

健康スポーツ医学研修会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止した。

禁煙推進委員会では、平成25年12月に制定した「山口県医師会禁煙宣言」について現状に即していない箇所があったことから改定し、本会ホームページに掲載した。また、令和2年に20代の一般市民へ行った喫煙防止教育のアンケートで、小中学校での喫煙防止教育が、その後の喫煙歴に大きく影響しているとの結果を得たことから、各校での実態について調査し、その結果を基に今後の喫煙防止教育において役立てたいと考え、アンケートを実施した。

郡市医師会成人・高齢者保健担当理事協議会
5月6日

山口県糖尿病対策推進委員会
6月17日(書面開催) 10月28日
2月10日(書面開催)

山口県糖尿病療養指導士講習会
7月18日 8月22日
9月19日 10月17日

「やまぐち糖尿病療養指導士」
第14回レベルアップ講習会 11月28日
郡市医師会特定健診・特定保健指導担当理事
及び関係者合同会議 9月30日

健康教育委員会
7月8日 10月7日 12月2日
山口県胃内視鏡検診研修会(Web)

2月6日
山口県緩和ケア研修会 2月13日(※中止)
健康スポーツ医学委員会 6月10日

健康スポーツ医学研修会
9月25日 11月23日(※すべて中止)
都道府県医師会運動・健康スポーツ医学

担当理事連絡協議会(Web) 10月8日
禁煙推進委員会 7月15日 10月14日

※中止・・・新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため開催を中止した。

新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症への対応については、県の専門家会議、モニタリング会議等へ参画し、感染の発生状況や国・県の取組み状況を把握し、地域の医療提供体制の確保に向けて一層の連携を図るとともに、会員への迅速な情報提供に努めた。

また、医療従事者に対する差別・偏見が広がっている実態や、受診の遅れがコロナ感染症の重症化に影響している可能性があることをふまえた医療機関への早期の受診について記者会見を開くなどして、県民へ情報発信した。とりわけ、5月には、新型コロナウイルス感染症患者の急速な増加に伴い逼迫する医療提供体制を踏まえ、県民に感染防止対策への協力を要請する「医療緊急事態宣

言」を公表した。

各医療圏単位で開催される圏域会議には、積極的に参加して県内の感染状況の把握に努め、地域の課題と実情を共有した。

医療用物資の配布については、国から医療機関へ直接配布されるアイソレーションガウン等の希望調査を実施した。

また、オミクロン株による急速な患者増加に対応するため、郡市医師会を通して、自宅療養者に対する健康観察や健康相談、診療に協力いただける医療機関の拡充、治療薬の処方のための医療機関の登録、診療・検査医療機関の拡充に努めた。さらに、保健所等の行政補完的な業務として自宅療養者の健康管理等に係る委託料の支払業務（県委託）に努めた。

新型コロナウイルスのワクチン接種については、会員への迅速な情報提供を行うとともに、県及び各郡市医師会等の医療関係団体と連携し、接種実施体制の構築に協力し、医療従事者等の追加接種（3回目）では、郡市医師会を通じて診療所等の接種予定者数の取りまとめを行った。

今後の新型コロナウイルス感染拡大に備えた医療提供体制の整備等に係る圏域会議

5月18日～26日

新型コロナウイルス感染症対策圏域会議

10月15日～22日

宿泊療養に関する協議

8月23日 8月30日

オミクロン株濃厚接触者対応 Web 会議

12月17日

オミクロン株感染拡大に伴う圏域会議

1月11日～17日

自宅療養体制についての協議

1月10日 1月24日

都道府県医師会新型コロナウイルス感染症

担当理事連絡協議会（Web）

4月14日 5月28日 7月30日

8月27日 9月24日 10月22日

11月26日 12月24日 1月28日

3月 2日

新型コロナウイルスワクチン接種対策会議

4月27日 6月17日

10月 7日 2月 3日

職域接種に関する打合せ 6月24日

小児向け新型コロナワクチン接種に係る

連絡会議 1月29日

産業保健

令和3年3月に情報通信機器を用いて遠隔で産業医の職務の一部を実施することについて、留意事項が整理され、オンラインと実地での活動の考え方が明示された。併せて、昨年より「取組の5つのポイント」を事業場に働きかけ、職場における新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図っている。労働者の安心した職場環境づくりには、正しい感染予防と健康管理の理解が重要であることから、県医師会主催の産業医研修会では、職場での新型コロナウイルス対策やワクチン接種や職域における健康管理を取り上げ、産業医の資質向上を図った。また、郡市医師会協力の産業医研修会では、要望を踏まえて、研修会を計18回企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため17回の開催となった。

また、県内の産業保健活動を推進するため、山口産業保健総合支援センター、郡市医師会、労働局など各関係機関との連携を行った。

第2回全国医師会産業医部会連絡協議会

10月21日

山口県医師会産業医部会理事会

8月19日

郡市医師会産業保健担当理事協議会

11月25日

山口産業保健総合支援センター運営協議会

9月2日（書面開催） 3月 3日

山口県医師会産業医研修会

9月 2日 9月 2日 9月 8日

9月 9日 9月16日 9月30日

10月14日 10月21日 10月27日

11月 4日 11月11日 11月11日

11月24日 12月 2日 1月20日

1月26日 2月24日

5 広報・情報

今村副会長 中村常任理事
長谷川常任理事 白澤理事
藤原理事

広報事業

広報事業は、組織の主張を展開し会員間の討論の場ともなる重要な分野であることから、令和3年度も対内広報と対外広報の発展に努めた。

①広報活動事業

コロナ禍で県民公開講座などの県民向けのイベントが開催できない状況を踏まえ、有益でタイムリーな情報を発信するために、令和3年度より「新型コロナウイルス患者に対する差別・偏見を止めよう」、「新型コロナウイルス感染拡大に伴う医療の緊急事態について」、「コロナ感染の疑いがあれば速やかに医療機関を受診しましょう」をテーマに記者会見を行い、県民に対して医療に関する情報を提供することができた。

医師会報の作成については、毎月開催している広報委員会において、誌面の刷新並びに記事やコーナーの充実をより一層図っており、「新都市医師会長インタビュー」、「新病院長に聴く」を行い、それぞれ掲載した。また、記者会見の発言内容等を「県医トピック」として掲載した。

ホームページについては、会員だけでなく県民への情報発信に必須の手段となっている。令和3年度も、新型コロナウイルス感染症関係のページの内容のさらなる充実に取り組んだ。

対外広報活動として、11月に山口県総合保健会館にて県民公開講座を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から開催を中止とした。しかし、毎年開催しており今回で12回目となった「いのち、きずな、やさしさ」がテーマのフォトコンテストについては予定通り開催した。前回から応募者を「県内在住の方に限定」して実施しており、109作品の応募があり、写真家の下瀬信雄先生を交えて10月に審査会を行い、表彰作品を決定した。なお、表彰式については前述の理由から中止としたため、会報1月号に表彰作品並びに下瀬先生による講評を掲載した。

報道機関との関係については、毎年、報道機関の支社長クラスで組織する山口県報道懇話会との懇談会を開催し、報道関係者との親睦を深めるとともに、医療へのさらなる理解を求めていたが、令和3年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から開催を断念した。

②花粉症情報提供事業

令和3年度は県内19測定機関にスギ・ヒノキ花粉について1月から4月末日まで毎日測定していただき、その結果を本会に連絡してもらい、それを基に翌日の飛散予測を行い、関係機関やマスクミ等に対して情報提供を行った。また、その間、本会のホームページの「花粉情報コーナー」も毎日更新し、最新の情報を県民に伝えるべく努力した。さらに4測定機関には5月から12月末日までイネ科花粉等の測定を行っていただき、飛散状況について週1回、ホームページに掲載した。

また、正確な花粉飛散情報を県民に提供するため、毎年開催しており測定機関の測定者等を対象に測定精度をより向上させることを目的とした花粉測定講習会、及び隔年で開催している県民公開講座「花粉症対策セミナー」について開催する予定としていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、講習会については希望者のみを対象として少人数で測定の実技講習を実施し、セミナーについては開催を中止とした。

より正確な花粉飛散予測の情報を県民等へ提供することを目的に、令和3年度から山口大学医学部医学科システムバイオインフォマティクス講座に「AIを用いた山口県におけるスギ花粉飛散予測に関する研究」をお願いし、AIプログラムの完成及び精度向上に向けて協力を行った。

情報事業

例年2～3月に2日間にわたって開催される日本医師会医療情報システム協議会がオンラインで開催されたので出席した。令和3年度のメインテーマは「新しい時代の医療ICTーウィズコロナを生き抜く」で、「日本医師会が目指す医療ICT」「国が目指す医療ICT」「医療ICTのサイバーセキュリティ」「地域医療情報連携ネットワーク（コロ

ナ禍での有用性)」「新しい時代の診療形態」「医療DXを進めるための先進ICT技術」の発表があり、活発な議論が交わされた。

また、Web上にて研修会等への出席のエンターができるシステムについて活用したほか、会員の利便性向上のために、館内に無線LANのアクセスポイントを設置した。

対内広報関係

広報委員会

4月 8日 5月 6日 6月 3日
 7月 1日 8月 5日 9月 2日
 10月 7日 10月28日 12月 2日
 1月13日 2月 3日 (※中止)
 3月 3日

歳末放談会 10月28日

対外広報関係 (県医師会)

フォトコンテスト審査会 10月 7日
 同 表彰式 11月 7日 (※中止)
 県民公開講座 11月 7日 (※中止)
 記者会見
 4月 8日 5月21日 9月16日

花粉情報関係

花粉情報委員会 6月24日 9月16日
 花粉測定実技講習 12月19日
 県民公開講座「花粉症対策セミナー」
 12月19日 (※中止)

医療情報システム関係

日本医師会医療情報システム協議会
 2月19～20日 (Web)

※中止・・・新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため開催を中止した。

6 医事法制

加藤副会長 郷良常任理事
 山下理事 縄田理事

過去3年に当会が受け付けた事故報告は、平成30年度が18件、平成31年・令和元年度は

13件で、前年度は18件、今年度は11件で、前年に比べてかなり減っていた。

医療事故防止対策の一環として毎年行っている「医療紛争防止研修会」は、コロナ禍においては感染症蔓延を避けるために、今年度も開催を見送った。なお、今年度は山口県消化器がん検診研究会より依頼をうけ、「医療事故紛争の現況と対策－消化管内視鏡検査を中心に－」と題した講演を行った。

医療安全対策においては、例年どおり担当役員において「日医医療安全推進者養成講座」を受講し、医療安全の推進を図った。

医療事故調査制度の運営については対象事案の対応を図るとともに、担当役職員においては「医療事故調査制度に係る管理者・実務者セミナー (e-learning)」(日本医師会)に参加し、調査の精度向上に向けて準備を図った。

診療情報提供の推進についても、例年どおり、患者等からの医療相談の対応及びカルテ開示等への質問に対応し、診療情報提供推進委員会(書面開催)において、当年の相談事例等を報告した。

令和3年度医療紛争発生

受付件数 11件 (日医付託は1件)

内訳

交渉 5件
 訴訟・様子見等 6件

令和3年「診療情報提供推進窓口」

受付件数 71件

内訳

患者 34件
 患者家族・その他 37件

上記のうち、

匿名 39件 実名 32件
 男性 31件 女性 39件
 不明 1件 (手紙)
 苦情 22件 相談 49件

医療紛争関係

1 医療事故防止対策

医療紛争防止研修会 (※中止)

山口大学研修医オリエンテーション
4月2日(Web)
中国四国医師会医事紛争研究会(愛媛県担当)
11月14日(Web)
都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会
12月9日(Web)
郡市医師会医事紛争・診療情報担当理事協議会
3月10日
冊子「医療事故を起こさないために(第4版)」
の周知徹底
山口県消化器がん検診研究会からの講演依頼
12月18日

2 紛争処理対策

医事案件調査専門委員会
(医師賠償責任保険審議会併催)
4月22日 6月24日 7月29日
8月19日 9月16日 10月28日
11月18日 12月16日 1月20日
2月24日 3月17日
医事案件調査専門委員会「事例研究会」
(※中止)
顧問弁護士・医事案件調査専門委員合同協議会
2月26日

3 医療安全対策

日医医療安全推進者養成講座 e-learning
日医医療安全推進者養成講習会 (※中止)
医療事故調査等支援団体連絡協議会 (※中止)
医療事故調査委員合同打合せ会 (※中止)
郡市医師会医療事故調査担当理事協議会
(※中止)
Ai研究会 (※中止)
医療事故調査の支援: 3件

4 診療情報の提供

診療情報提供推進委員会
2月10日(書面開催)
郡市医師会医事紛争・診療情報担当理事協議会
3月10日

薬事対策

1 麻薬対策

麻薬の適正使用・保管・管理・記帳・諸届、毒劇物の保管・管理の周知の徹底を図ったが、特に問題となる事例は発生しなかった。

2 医薬品臨床治験

治験に関する情報については本会ホームページを活用し会員に情報提供をしている。

※中止・・・新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため開催を中止した。

7 勤務医・女性医師

今村副会長 加藤副会長
中村常任理事 長谷川常任理事
前川常任理事 郷良常任理事
白澤理事 山下理事
茶川理事 縄田理事

勤務医

医師の働き方改革の議論が本格化し、医師の労働時間短縮や健康確保は重要な課題であり、個人の強い使命感や、医療現場の献身的な努力ではもはや解決できなくなっている。また、新医師臨床研修制度や新専門医制度により若手医師が不足することで、過重労働や診療科及び地域の偏在が顕在化しており、勤務医をめぐる環境は非常に厳しい状況にある。

こうした中、勤務医部会では、勤務医をめぐる諸課題の解決に向け、郡市医師会勤務医理事との懇談会、病院勤務医懇談会、市民公開講座、医師事務作業補助者研修会、医学生への啓発事業、座談会、シンポジウムなどを企画したが、昨年度に続き、今年度も新型コロナウイルス感染症の蔓延のため、中止せざるを得ない事業があった。

郡市医師会勤務医理事との懇談会は実地とオンラインを併用して開催した。新型コロナウイルスの患者診察に関する郡市医師会及び各病院における取り組み、苦勞したこと、ワクチン接種について情報交換を行った。また、勤務医の医師会活動への参加促進を行った。

病院勤務医懇談会は、役員等が病院を訪問し、病院長、勤務医、役員等が一堂に会し、勤務医の抱えている諸問題について本音でトークをすることにより課題を抽出、それぞれの果たすべき役割等について検討し対策を講じることを目的に、毎年、県内2か所で実施していたが、今年度も開催を見合わせた。

市民公開講座は、医療現場の諸問題や勤務医の実情を広く地域住民に理解していただくために、郡市医師会の協力のもとに毎年県内2か所で市民公開講座を開催しているが、昨年度同様、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため開催を中止した。

医師事務作業補助者の活用は勤務医の負担軽減に資することから、オンラインで研修会を開催した。

医学生への啓発事業（医学生のための短期見学研修事業）は、医学生が自身の興味ある診療科の実態を、県内の臨床研修施設で、医学生になった早い時期に体験することにより、県内で医師として働くことの意義や魅力を知ることが目的として、毎年、山口大学医学部医学教育学講座の協力により実施しているが、今年度も実施を見合わせた。

座談会は、「新型コロナウイルスと働き方改革Part2」をテーマに、新型コロナウイルス感染症における検査方法及び治療に関すること、診療上で苦勞したこと、過重労働の有無や他の医師のバックアップ体制等について意見交換を行った。

この座談会は実地とオンラインを併用して開催し、内容は勤務医ニュース第28号として発刊した。

シンポジウムは「働き方改革について」をテーマにハイブリッド形式で開催した。なお、このシンポジウムの内容は、令和4年度発行予定の勤務医ニュースに掲載する。

また、新型コロナウイルスの影響で延期となった令和2年度シンポジウムの代替企画として、特別講演会を開催した。

臨床研修への取り組みとしては、平成22年4月より、山口大学、県内の基幹型臨床研修病院、山口県及び山口県医師会で組織された山口県医師

臨床研修推進センターにおいて、臨床研修の円滑な推進及び研修医の県内定着に関する事業を行っており、今年度も臨床研修病院合同説明会への参加、指導医・後期研修医等国内外研修助成事業等により、県内の若手医師の確保・育成に努めた。

以下に本年度事業内容を報告する。

1 勤務医対策

- (1) 勤務医部会総会（シンポジウム）、理事会、企画委員会、特別講演会

①総会（シンポジウム）	2月20日
②理事会	9月4日
③企画委員会	
	6月12日 9月14日 12月8日
④特別講演会	6月12日
- (2) 郡市医師会勤務医理事との懇談会
10月27日
- (3) 病院勤務医懇談会（※中止）
- (4) 市民公開講座（※中止）
- (5) 医師事務作業補助者連絡協議会
医師事務作業補助者研修会
7月10日
2月11日
- (6) 医学生への啓発事業
（医学生のための短期見学研修事業）
（※中止）
- (7) 勤務医ニュースの発行
第28号（3月発行）
内容：座談会「新型コロナウイルスと働き方改革Part2」（12月8日）
- (8) 全国医師会勤務医部会連絡協議会（京都）
10月2日
- (9) 都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会
5月18日
- (10) 中国四国医師会連合勤務医委員会
10月2日

※中止・・・新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため開催を中止した。

2 臨床研修医の確保対策

（山口県医師臨床研修推進センター事業）

- (1) 臨床研修医歓迎会 4月2日（Web）
- (2) 臨床研修病院合同説明会

・医学生対象

レジナビフェア大阪	9月12日(※中止)
eレジフェア西日本	9月26日(※中止)
eレジフェアオンライン	9月26日
レジナビフェア福岡	10月10日(※中止)
レジナビフェア東京	10月24日(※中止)
マイナビフェア福岡	1月30日(※中止)
マイナビフェア広島	2月20日(※中止)
レジナビフェアオンライン	3月13日
レジナビフェア東京	3月20日

・研修医対象

レジナビフェア東京	(※中止)
レジナビフェア大阪	(※中止)
eレジフェアオンライン	6月14～20日

- (3) 臨床研修医交流会 8月28日(Web)
- (4) 指導医・後期研修医等国内外研修助成事業
助成実績：0名
- (5) 国内外からの指導医の招へい事業
助成実績：県内基幹型臨床研修病院2病院
- (6) 病院現地見学会助成事業
助成実績：県内基幹型臨床研修病院10病院
- (7) 山口県医師臨床研修推進センター運営会議
11月11日 3月24日

※中止・・・新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため開催を中止した。

女性医師

男女共同参画部会では6つのワーキンググループ(勤務医環境問題、育児支援、女子医学生キャリア・デザイン支援、地域連携、広報、介護支援)による活動を継続した。部会総会では毎年、時事的な話題も含めた講演会やシンポジウム等を企画しており、今年度は、宇部市の金子小児科院長金子淳子先生の講演「子どもたちの健やかな育ちを地域で支える」をWebでの配信を併用して実施した。

また、日本医師会が開催するブロック会議・連絡会等に参加し、他県の取り組み等の情報収集に努めるとともに、男女共同参画推進事業助成金制度を継続し、女性医師の医師会活動への参画推進及び医師の働きやすい環境づくりと資質向上に向

けた活動を行う都市医師会への支援を実施した。なお、引き続きコロナ禍にあることが影響し、都市医師会の男女共同参画部会等の活動費用の助成は昨年度と同じく2件にとどまった。

1 勤務医環境問題

女性医師勤務医ネットワークの更新を行った。県内141病院のうち、120病院の登録があった。

2 育児支援

平成21年から山口県の委託事業として専任の保育相談員を置き、女性医師等からの育児に関連した相談を受け支援を続けている。同年設立した保育サポーターバンクでは引き続き登録者の募集を行うとともに、医師に対して、県医師会報、リーフレット、ポスター等において保育サポーターバンク活用の広報を行っており、3月31日現在、総相談件数は224件、バンク登録者は82名である。

また、10月に保育サポーターバンク通信(第12号)を発行した。なお、3月6日に開催を予定していた第12回サポーター研修会は新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため中止した。

3 女子医学生キャリア・デザイン支援

年々増加している女子医学生が、先輩女性医師の働く姿を見て、実際に働く現場を体験することにより、自分の将来像を描く参考にすることで、これからの医療を担う責任感を養い、医師として仕事をし続ける自覚を育てることを目的として、平成21年度から女子医学生インターンシップを実施している。なお、今年度もコロナ禍にあることを考慮し、2年連続の中止とした。

4 地域連携の推進

現在までに県内11都市医師会により9つの男女共同参画・女性医師部会等が設置されている。都市間の情報交換の場として男女共同参画・女性医師部会地域連携会議を開催し、各都市の活動報告および意見交換を行った。

5 広報

平成23年に山口県医師会ホームページ内に女性医師支援のためのコーナー：やまぐち女性医師ネット（Y-JoyNet）を作成しており、活動状況等掲載情報の更新を適宜行った。

6 介護支援

平成27年度の総会において、日常の介護に関わる課題等について専門家を交えて意見交換を行ったことを基に、医師会としての介護支援の在り方を検討した。

男女共同参画部会総会	3月 6日
男女共同参画部会理事会	
6月19日 10月16日 1月23日	
男女共同参画部会ワーキンググループ	
総 会	9月 8日
育児支援	6月19日 9月25日
男女共同参画・女性医師部会地域連携会議	
	10月16日
保育サポーターバンク運営委員会	
	6月19日 9月25日
保育サポーター研修会	3月 6日（※中止）
日医（第16回）男女共同参画フォーラム	
「大分県」	5月15日（※中止）
女性医師支援・ドクターバンク連携	
中国四国ブロック会議	11月14日
日医女性医師支援担当者連絡会	12月 5日

※中止・・・新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため開催を中止した。

8 医業

沖中常任理事 茶川理事
上野理事 縄田理事

医業経営対策

医療関係の税制においては、日本医師会が中心となり厚生労働省等の各関係機関に要望を行った。その結果、令和4年度税制改正大綱で、「事業税非課税措置・軽減措置」は検討事項とされ存続されることになった。また、四段階制（社会保険診療報酬の所得計算の特例措置）も存続、さら

には地域医療構想実現に向けた税制上の優遇措置が拡充され、不動産取得税の軽減措置が追加となった。当会では医療関係の税制を喫緊課題としてとらえており、各方面からの情報を収集しつつ、円滑な医業経営と運営ができるように情報提供を行った。

医業の承継事業では、山口県の「医業承継支援事業」の運営委託を受け、まずはその基盤体制づくりを検討した。また、県内の病院勤務医（医師会員）に事業承継に関する意識調査を行い、調査結果はこの事業運営に役立てたい。

新規事業として、会員またはその医療従事者が新型コロナウイルスに感染あるいは濃厚接触等で休業又は外来閉鎖を余儀なくされた場合の支援金制度も創設し、申請のあった医療機関を支援した。

医療機関税制セミナー	1月 6日 (Web)
自民党山口県連政策聴問会	9月30日
ドクターバンクを利用しての	
医師確保への取り組み	
コロナ禍における医療機関の支援	
山口県医業承継推進連絡会議	2月10日 (Web)

医療従事者確保対策

令和3年度も継続して医療従事者に対する教育・研修の開催を支援していくための事業を、強化して行った。

毎年の状況を取り纏めている「看護学校（院）に関する基本調査」では、運営が厳しい状況が変わらないことがうかがえ、特に応募者、入学者の減少が顕著であることから、応募者等の増加を目的として「医師会立看護学校 PRCM」のTV放映を行ったところである。これらのPR方法の効果については今後検証し、改めて対策を検討する。

本年も新型コロナウイルス感染症の感染拡大は収まらなかったことから、各看護学校（院）での感染拡大防止策の経費の支援を行った。なお、例年実施している各看護学校（院）への助成等は以下のとおりである。

また、本年度は各医療機関が医療従事者等（医療事務職員含む）を求人するための新しいルートとして、医師会と各専門学校が連携し、情報提供

及び情報共有する仕組みを構築した。

国や行政に対しては、看護職員等の確保、養成施設の現状の理解及び支援拡充について要望を継続して行った。

郡市看護学院（校）担当理事・
教務主任合同協議会 6月3日
中四九地区医師会看護学校協議会（高松市）
8月1日（Web）

看護学校課題対策検討会 （※中止）

看護学校（院）への助成

看護職員等研修会に対する助成

生徒募集対策（募集ポスター作成）

山口県准看護師教育教務主任会への助成

山口県実習指導者養成講習会受講者に対する
助成

オープンキャンパス開催時の助成

准看護師を対象としたスキルアップ研修会
開催時の助成

中四九地区医師会看護学校協議会への

学校（院）参加のための助成

看護教員養成講習会の通信受講者の支援

都道府県医師会医療関係者担当理事連絡協議会
（※中止）

医師会立看護学校 PRCM の放映

医師会立看護職員養成所の

新型コロナウイルス感染防止対策等への支援

労務対策

医療機関が円滑な医業運営をするためには、従業員等の労務管理は必要不可欠なもので、それは県民への質の高い医療の提供にもつながる。適正な労務管理ができるように、関係当局と連携して情報提供等を行った。

平成27年9月に開設された「山口県医療勤務環境改善支援センター」においては、当会も必要に応じて情報提供等の連携をした。

働き方改革については、労働局等の関係機関からの情報を会員に周知徹底を図るとともに、中央の動向を注視し、適宜対応できるようにしている。その他、関係機関と協議を行った。

労働基準法、男女雇用機会均等法、

育児・介護休業法などの普及啓発

山口県医師会ドクターバンク活用の推進

山口県医療勤務環境改善支援センターとの

連携運営協議会 3月14日（書面開催）

都道府県医師会医師の働き方改革担当理事

連絡協議会 4月1日 11月19日（Web）

医療廃棄物対策

今年度も国や県からの医療廃棄物取扱いに関する情報提供を行い、また医師会員からの廃棄物（感染性廃棄物、水銀含有物、ポリ塩化ビフェニル処理）に関する問い合わせの対応を行った。

産業廃棄物処理施設における

作業環境管理研修会 （※中止）

※中止・・・新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため開催を中止した。

II その他事業

1 収益

実施事業を財政的に支えるために、次の事業を実施した。

(1) 保険料収納代行業務

主に会員を対象として生命保険及び損害保険の保険料の集金業務を保険会社等に代わって行うことにより、生命保険会社等から集金代行手数料を得た。

(2) 労働保険事務組合業務

小規模の事業主である会員から委託を受けて、労働保険料の申告、納付各種届け出等の業務を行い、山口労働局から報奨金の交付を受けた。

Ⅲ 法人事業

1 組織

清水専務理事 藤原 理事
 縄田 理事

1 表彰

医事・衛生に関する地域社会に対する
 功労者表彰 2名
 医事・衛生に関する地域社会に対する
 功労者表彰 2名
 長寿会員表彰 40名
 役員・代議員・予備代議員・都市医師会長
 通算10年以上表彰 1名

2 会員への入会促進・研修

新規第1号会員研修会 10月14日

3 調査研究等

裁定委員会 5月8日
 定款等検討委員会 5月26日（書面開催）

4 都市医師会関係

都市医師会長会議
 10月21日 2月17日（※中止）

5 日医関係

日本医師会第149回定例代議員会（Web）
 6月27日
 日本医師会第150回臨時代議員会（Web）
 3月27日
 都道府県医師会会長会議（Web）
 5月18日 9月21日 1月18日
 都道府県医師会事務局長会議（Web）
 2月25日
 日本医師会学術推進会議（Web）
 5月13日 9月9日
 12月2日 3月31日
 日本医師会医療経営検討委員会（Web）
 7月1日 11月4日 2月3日
 日本医師会医師会共同利用施設
 検討委員会（Web）
 5月14日 8月4日
 11月26日 3月25日

日本医師会IT委員会（Web）
 5月12日 8月26日 10月28日
 12月23日 3月9日

日本医師会母子保健検討委員会（Web）
 5月20日 11月4日 2月16日

6 中国四国医師会連合関係

常任委員会（Web）
 6月27日 10月2日 3月26日
 中国四国医師会連合総会（Web） 10月2日
 中国四国医師会連合各種分科会（Web）
 10月2日
 中国四国医師会勤務医委員会（Web）
 10月2日

7 会員福祉関係

(1) 会員親睦
 山口県医師会ゴルフ大会
 11月21日（※中止）
 山口県医師会囲碁大会 2月13日（※中止）
 山口県医謡会
 （※中止 令和元年度開催を最後に閉会となる）
 (2) 弔慰（物故会員参照）
 規定どおり実施した。

8 新公益法人制度対策

決算事務等定期提出書類について顧問会計事務所と協議を行った。

9 母体保護法関係

母体保護法指定医師審査委員会
 5月9日 5月28日（書面開催）
 6月2日（書面開催）
 （指定更新26名、新規指定4名）
 母体保護法指定医師研修会
 5月9日 12月12日
 認定研修機関（9施設）の定期報告
 日医家族計画・母体保護法指導者講習会（Web）
 12月4日

10 関係機関連携

山口県健康福祉部との懇話会

9月2日（※中止 書面にて要望書提出）
 山口県歯科医師会、山口県看護協会、
 山口県病院協会、三師会との懇談会（※中止）

第16回医療関係団体新年互礼会
 1月8日（※中止）

※中止・・・新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため開催を中止した。

11 医師会共同利用施設対策

医師会病院、臨床検査センター及び介護関連施設等の医師会共同利用施設は、地域の健康・医療・福祉を包括した総合拠点として重要な役割を果たしているものの、施設の老朽化や民間との競合など経営面での問題を抱えている施設もある。

本年度は、北海道で開催された「第29回全国医師会共同利用施設総会」に参加し、岩国市医療センター医師会病院による分科会発表も行った。

また、昨年度より担当県として参加している日本医師会共同利用施設検討委員会においても、全国の共通の問題点に対する対応策や運営上の情報交換を行った。

さらに、山口県衛生検査所精度管理専門委員会への参加、及び山口県衛生検査所立入検査を行い、精度向上に貢献した。

- 日本医師会共同利用施設検討委員会（Web）
 5月14日 8月4日
 11月26日 3月25日
- 第29回全国医師会共同利用施設総会（北海道）
 9月11日～12日（Web）
- 山口県衛生検査所精度管理専門委員会
 8月12日（Web）
- 山口県衛生検査所立入検査 10月14日
- 山口県衛生検査所精度管理研修会
 3月24日（Web）

12 社会貢献

山口県立美術館及びレノファ山口FCに対する活動支援等を行った。

13 医政対策

- 自民党山口県連政策聴問会 9月30日
- 自民党山口県支部政経セミナー 10月31日
- 公明党山口県本部政策懇談会 11月14日
- 自民党山口県連環境福祉部への要望
 9月30日

14 庶務関係報告

(1) 会員数（令和3年12月1日現在）

	令和3年度	令和2年度	増減(△)
第1号会員	1,234	1,241	△7
第2号会員	862	877	△15
第3号会員	449	463	△14
計	2,545	2,581	△36

郡市医師会別会員数

郡市医師会	第1号	第2号	第3号	計
大島郡	7	23	3	33(31)
玖珂	24	21	0	45(46)
熊毛郡	15	6	0	21(20)
吉南	55	38	3	96(101)
美祢郡	6	7	0	13(13)
下関市	266	119	71	456(460)
宇部市	171	97	37	305(306)
山口市	119	104	27	250(252)
萩市	41	35	0	76(77)
徳山	121	121	24	266(269)
防府	97	78	39	214(218)
下松	54	27	1	82(82)
岩国市	89	39	9	137(138)
山陽小野田	61	41	6	108(111)
光市	36	39	4	79(78)
柳井	37	38	6	81(84)
長門市	26	23	1	50(51)
美祢市	9	6	1	16(16)
山口大学	0	0	217	217(228)
計	1,234	862	449	2,545(2,581)

()は令和2年度

(2) 物故会員

令和3年4月1日から令和4年3月31日ま

でに24名の会員がお亡くなりになりました。

(3) 代議員数

大島郡	1	山口市	6	光市	2
玖珂	1	萩市	2	柳井	2
熊毛郡	1	徳山	6	長門市	2
吉南	3	防府	5	美祢市	1
美祢郡	1	下松	2	山口大学	5
下関市	10	岩国市	3		
宇部市	7	山陽小野田	3		
				計	63名

(4) 代議員会

第188回臨時代議員会

令和3年4月15日(木)

山口県総合保健会館 多目的ホール

議決事項

議案第1号

山口県医師会裁定委員選任の件

報告事項

報告第1号

令和3年度山口県医師会事業計画の件

報告第2号

令和3年度山口県医師会予算の件

第189回定例代議員会

令和3年6月17日(木)

山口県総合保健会館 多目的ホール

報告事項

報告第1号

令和2年度山口県医師会事業報告の件

議決事項

議案第1号

令和2年度山口県医師会決算の件

議案第2号

令和4年度山口県医師会費賦課徴収の件

議案第3号

令和4年度山口県医師会入会金の件

議案第4号

令和4年度役員等の報酬の件

(5) 理事会

4月 1日	4月 15日	5月 13日
5月 27日	6月 10日	6月 24日
7月 8日	7月 21日	8月 5日
8月 19日	9月 2日	9月 16日
10月 7日	10月 21日	11月 4日
11月 18日	12月 2日	12月 16日
1月 6日	1月 20日	2月 3日
2月 17日	3月 3日	3月 17日

(6) 常任理事会

4月 15日	6月 17日	9月 24日
--------	--------	--------

(7) 監事会

5月13日に開催し、令和2年度の決算状況及び業務執行状況について詳細に監査を受けた。

2 管 理

医師会運営及び会館管理に関することを行った。

多くの先生方にご加入頂いております！

お申し込みは
随時
受付中です

医師賠償責任保険

所得補償保険

団体長期障害所得補償保険

傷害保険

詳しい内容は、下記お問合せ先にご照会ください

取扱代理店 山福株式会社
TEL 083-922-2551
引受保険会社 損害保険ジャパン
日本興亜株式会社
山口支店法人支社
TEL 083-924-3005



損保ジャパン日本興亜